

# 設定を変える

## その他設定

**1**  メニュー/戻る MENU/RETURN 押す

**2** ▲▼ で  「その他設定」 を選ぶ

メニュー 1/4  
1. お手入れ  
2. 節電  
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

メニュー 4/4  
3. オート機能  
4. その他設定  
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

リモコン裏面

この表示画面での設定項目  
1.凍結防止  
2.電子音  
3.水勢洗浄位置記憶  
4.便器洗浄水量 6Lモード  
5.便器洗浄水量 8Lモード

メニュー/戻るボタン

▲▼ で項目の枠を動かし、  
◀▶ で設定を選び、  
● で決定する

**3** ▲▼ で 「凍結防止」 を選ぶ

**4** ◀▶ で 「入/切」 を選ぶ

<「入」に設定する場合> 設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。

10分間隔で便器洗浄します  
設定する? ◀はい▶  
◀▶で「はい」を選ぶ

凍結防止を 入に設定しました  
(戻るとき→  MENU/RETURN)

---

電子音を 鳴らす/鳴らさない

**3** ▲▼ で 「電子音」 を選ぶ

**4** ◀▶ で 「入/切」 を選ぶ

メニュー 2/5  
1. 凍結防止 切  
2. 電子音 ◀入▶  
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

メニュー 2/5  
1. 凍結防止 切  
2. 電子音 ◀切▶  
◆で選ぶ⇒[●決定] 押す

電子音を 切に設定しました  
(戻るとき→  MENU/RETURN)

お好みの 水勢・洗浄位置のままにする/しない

**3** ▲▼ で 「水勢洗浄位置記憶」 を選ぶ

**4** ◀▶ で 「入/切」 を選ぶ

水勢洗浄位置記憶を 入に設定しました  
(戻るとき→  MENU/RETURN)

必要なとき

# こんなときは 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

## お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.36)を「切」にしてください。

## 流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

### ■設定のしかた (P.40)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

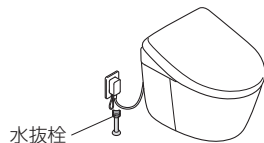


## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

#### お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



### 2 ノズルを出す

リモコン裏面のボタンで操作します。

1.  MENU/戻る 押す
2.  で「お手入れ」を選び  押す
3.  で「ノズルそうじ開始 / 停止」を選び  押し、ノズルを伸出させた後、もう一度  押してノズルを戻す (給水管の圧抜き)

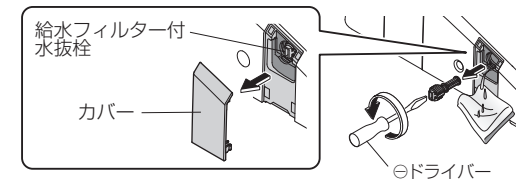
### 3 電源プラグを抜く

## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 4 配管の水を抜く

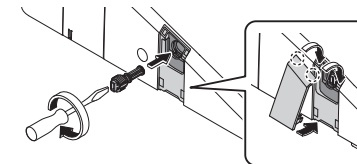
①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

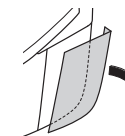
- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



### 5 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

### 6 すっきりパネル(右)を取りはずす



### 7 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

### 8 便座温度を「高」にする (P.20)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを開けておく

### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.50)

#### お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。


# こんなときは 長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。



(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)  
(凍結して製品破損などをおこす原因)

**ご注意** ・「お掃除リフト」(P.28)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

## 水抜きのしかた

- 1 ■流動方式のとき  
止水栓または元栓を閉める(P.4)  
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
水抜栓を操作して、給水を止める(P.48手順①)  
**お願い**  
・止水栓は開けたままにしておいてください。
  - 2  を押して  
タンクの水を抜く
  - 3 ノズルを出す  
(P.48 手順②)
  - 4 電源プラグを抜く
  - 5 配管の水を抜く  
(P.49 手順④)
  - 6 水抜きレバーを引き出す  
・ノズル付近から水が出る(約20秒)
  - 7 手を離し、水抜きレバーを元に戻す
  - 8 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ  
便器内のタンクの水を抜く  
・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
- 凍結のおそれがあるときは  
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。(下記)

## 再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける、または、水抜栓を操作して、給水する  
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む  
・「運転」ランプが点灯する
- 3 ①ノズルから水を出す  
(1) 便座の左側を押したまま、  
(2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す  
・水は紙コップなどで受けてください。  
(3) リモコンの「止」ボタンを押す  
②  を押す  
・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。  
※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。  
■残水が凍結して水が出ないとき  
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 4 便器に水がたまってから、もう一度  を押す

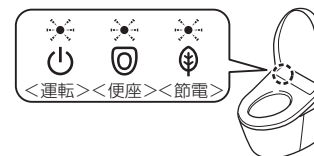
# 故障かな?と思ったら

まず、P.51～56の処置方法をお試しください。

それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTO メンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTO メンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

- 運転、便座、節電ランプが点滅している

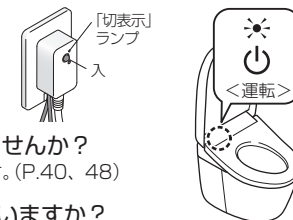


- 電子音が止まらない

まず、ご確認ください

運転ランプが点灯していますか?

- 電源プラグの切表示ランプが点灯していませんか?  
→「入」ボタンを押す(ランプ消灯)



- 「運転」ランプが点滅していませんか?  
→「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.40、48)

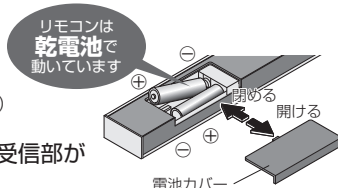
- 配電盤のブレーカーが入っていますか?  
→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する

節電ランプが点灯していませんか?

- 点灯中は節電中(P.22)のため、便座の温度を下げたり便座ヒーターを切ったりしています。

リモコンで動きますか?

- リモコン上面の電池切れ予告ランプが点滅していませんか?  
→乾電池を交換する(P.12、46)



- リモコン送信部やリモコン受信部がふさがれていませんか?  
→障害物やゴミ・水滴などを取り除く



**注意**

❗ 水漏れが起きたら、止水栓を閉める

＜床給水・壁給水の場合＞



(壁排水リモデルの場合 →P.4)

必要なとき